

2027年2月期(第37期)

決算説明会資料



株式会社クリーク・アンド・リバー社

2026年7月9日

東証プライム 4763

- 1. 2027年2月期(第37期)第1四半期 決算報告**
- 2. 成長戦略**
～連峰経営による持続可能な成長モデルについて～
- 3. Appendix**

2027年2月期(第37期) 第1四半期決算報告

2027年2月期 第1四半期決算

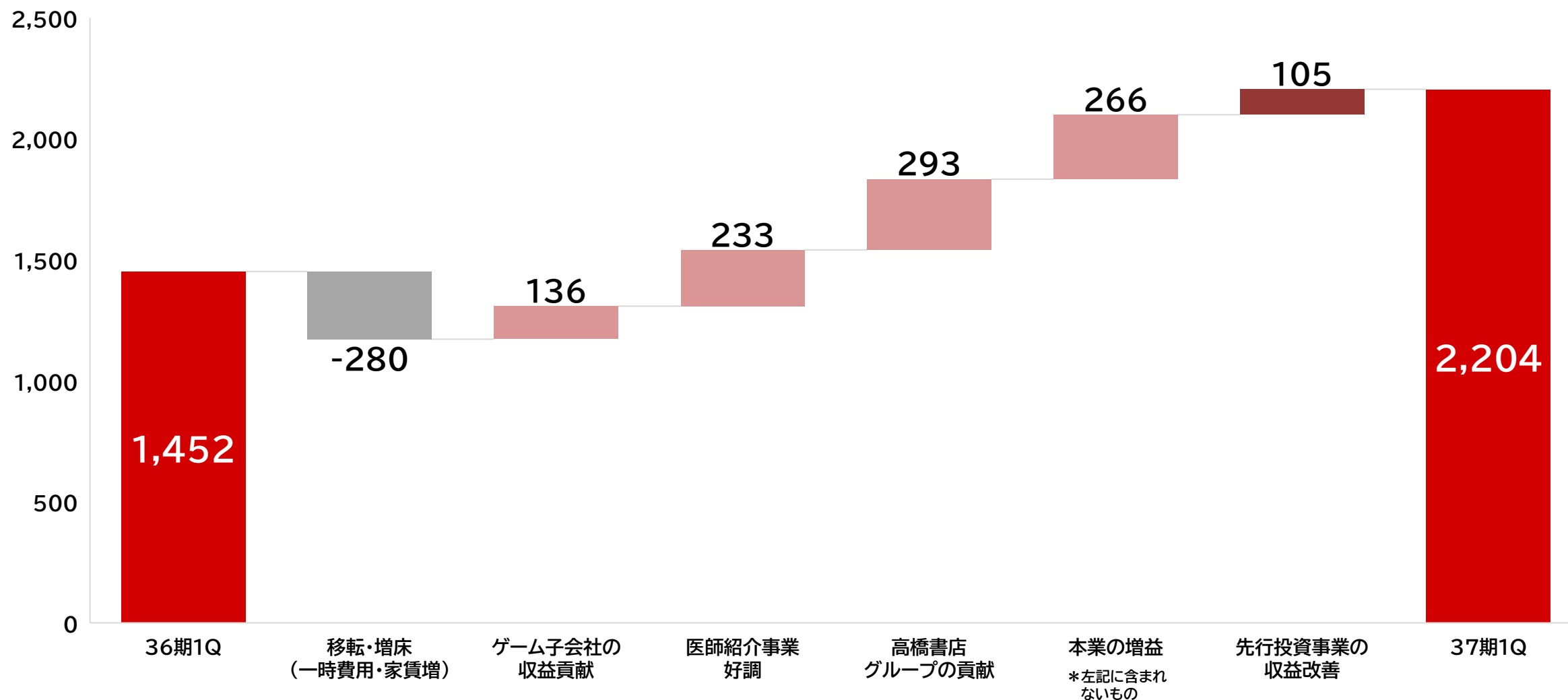
- 売上高、利益において過去最高の業績を達成
- 既存事業が着実に成長するとともに、高橋書店グループも業績に寄与

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
17,034百万円	2,204百万円	2,192百万円	1,486百万円
高橋書店 除き 15,359百万円	高橋書店 除き 1,912百万円	高橋書店 除き 1,885百万円	高橋書店 除き 1,235百万円
—— 前年同期比 —— 123%	—— 前年同期比 —— 152%	—— 前年同期比 —— 152%	—— 前年同期比 —— 157%
高橋書店 除き 111%	高橋書店 除き 132%	高橋書店 除き 131%	高橋書店 除き 131%

決算ハイライト 営業利益の増減について

- C&Rクリエイティブスタジオ増床による費用増を吸収し、事業の伸長及び投資事業の収益改善により、大幅増益を達成

単位:百万円



決算ハイライト 高橋書店グループの影響

- 前期第2四半期より損益を連結化した高橋書店グループの影響は以下の通り
- 売上高構成 8割:日記・手帳・カレンダー 2割:出版
- 第2四半期は日記・手帳・カレンダーの返品による赤字、第3・4四半期は出荷による黒字となる季節性
- 今期は堅調に推移

単位:百万円

2026年2月期

1Q(1-3月)

2Q(4-6月)

3Q(7-9月)

4Q(10-12月)

通期(1-12月)

売上高

-

361

3,949

1,839

6,150

営業利益

-

▲515

865

366

715

2027年2月期

当第1四半期において企業結合に係る会計処理の確定を行っており、2026年2月期の数値は暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております

売上高

1,676

営業利益

293

<計画>

7,800

800

*利益にはのれん償却費等を含む

2027年2月期 第1四半期 実績（損益計算書）

単位:百万円

	2027年2月期 1Q	2026年2月期 1Q	前期比	進捗 (上期) *期初計画	進捗 (通期) *期初計画
売上高	17,034	13,839	123%	55%	26%
売上総利益	7,094	5,340	133%		
売上総利益率	41.6%	38.6%	+3.0pt		
販売管理費	4,890	3,888	126%		
販売管理費率	28.7%	28.1%	+0.6pt		
営業利益	2,204	1,452	152%	94%	42%
営業利益率	12.9%	10.5%	+2.4pt		
経常利益	2,192	1,438	152%	95%	43%
経常利益率	12.9%	10.4%	+2.5pt		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,486	945	157%	99%	44%

当第1四半期において企業結合に係る会計処理の確定を行っており、2026年2月期の数値は暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております

2027年2月期 第1四半期 実績（貸借対照表）

単位:百万円

	2027年2月期 1Q	2026年2月期末	増減	
流動資産	30,634	35,342	▲4,708	売上債権の減(高橋書店の季節性)
現預金	17,907	17,696	+211	
固定資産	13,858	11,493	+2,365	
有形固定資産	3,201	2,517	+683	増床による建物設備、器具備品の増
投資その他の資産	9,006	7,356	+1,650	投資有価証券の増
流動負債	22,780	26,430	▲3,650	支払債務の減(高橋書店の季節性)
固定負債	1,885	979	+906	
借入金(短期/長期)	11,526	11,545	▲19	
純資産	19,826	19,425	+401	
自己株式	▲2,675	▲2,675	-	
総資産	44,492	46,835	▲2,343	* 自己資本比率40.9%→43.8%

当第1四半期において企業結合に係る会計処理の確定を行っており、2026年2月期の数値は暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております

2027年2月期 業績予想及び配当予想の修正(増配)

- 業績が順調に進捗していることを踏まえ、上期計画及び通期計画を上方修正いたしました。
- あわせて、期末配当を1円増配いたします。

単位:百万円

	2027年2月期 上期計画		増減	2026年2月期 上期実績	2027年2月期 通期計画		増減	2026年2月期 通期実績
	(修正)	(期初計画)			(修正)	(期初計画)		
売上高	31,500	31,000	+500	28,092	66,000	65,500	+500	61,393
営業利益	2,550	2,350	+200	2,080	5,450	5,250	+200	4,938
営業利益率	8.1%	7.6%	+0.5pt	7.4%	8.3%	8.0%	+0.3pt	8.0%
経常利益	2,500	2,300	+200	2,053	5,350	5,150	+200	4,826
親会社株主に帰属する 中間／当期純利益	1,600	1,500	+100	2,186	3,450	3,350	+100	4,105
当第1四半期において企業結合に係る会計処理の確定を行っており、2026年2月期の数値は暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております								
配当(円)	0.0	0.0	-	0.0	51	50	+1	50



成長戦略

～連峰経営による持続可能な成長モデルについて～

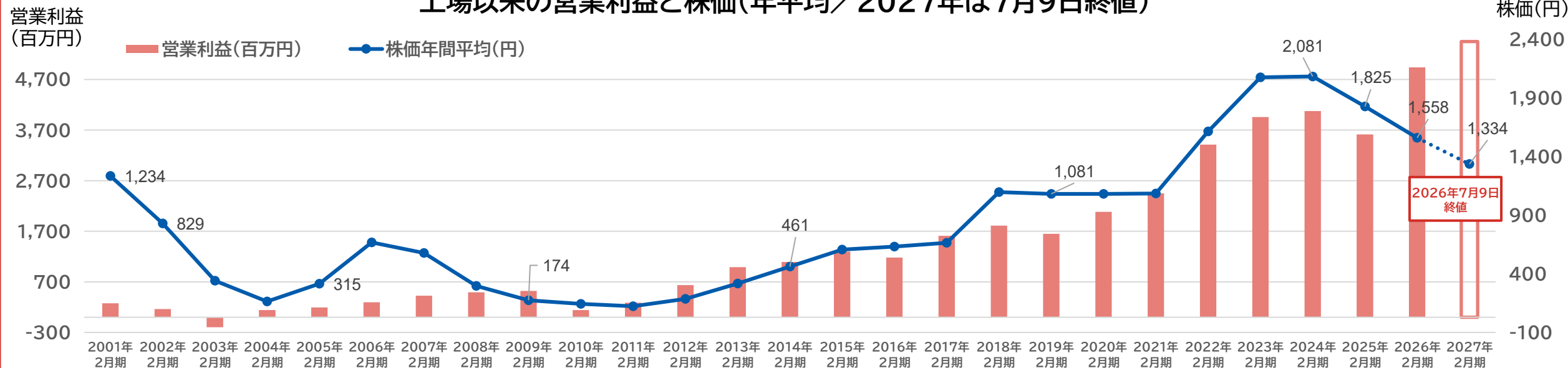
報告セグメントと8カテゴリについて

- 当社の決算短信上での報告セグメントと本説明会資料における「カテゴリ」の相関は以下の通りとなります。

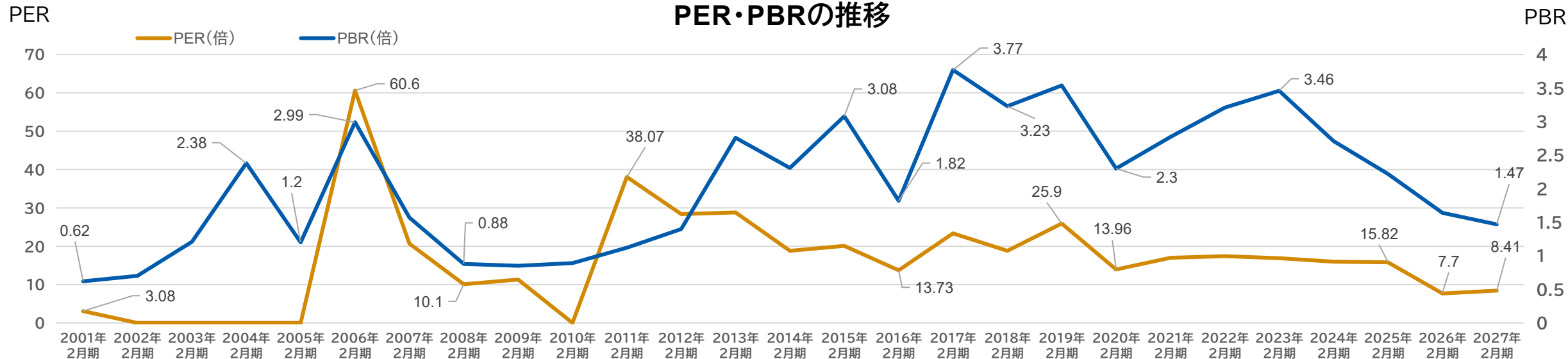
カテゴリ	報告セグメント					
	クリエイティブ分野(日本)	クリエイティブ分野(韓国)	医療分野	会計・法曹	CRES	その他
1 ゲーム&ライツマネジメント	○					○
2 ブロードキャスティング&動画	○	○				
3 プロモーション&マーケティング	○					
4 メディカル&ヘルスケア			○			
5 AI/DX・IT	○					○
6 プロフェッショナル・エージェンシー				○		
7 Quality of Life	○					○
8 インキュベーション&デベロップメント					○	

業績成長と市場評価について

上場以来の営業利益と株価(年平均／2027年は7月9日終値)



PER・PBRの推移



プロフェッショナル数: **46.3万** 人

クライアント数 : **5.7万** 社

グループ会社数 : **35** 社

社員 : **4,605** 人

*2026年4月時点



C&Rグループがめざす「連峰経営」

多岐にわたる専門分野を持つグループ各社が、各事業の強みを伸ばし、相互連携を通じて、クライアントと社会に貢献する価値を創出します



同じ土壌(グループ理念)で成長を支える

C&Rグループのネットワークとノウハウを活用し、多様な分野に新たな価値を創造します

1

ゲーム & ライツマネジメント

クリーク・アンド・リバー社
クレイテックワークス
forGIFT
URS Games
CREEK & RIVER SHANGHAI

2

ブロードキャスティング & 動画

クリーク・アンド・リバー社
ウイング
シオン
シオンステージ
CREEK & RIVER ENTERTAINMENT
CREEK & RIVER KOREA

3

プロモーション & マーケティング

クリーク・アンド・リバー社

4

メディカル & ヘルスケア

メディカル・プリンシプル社
コミュニティ・メディカル・イノベーション

5

AI/DX・IT

クリーク・アンド・リバー社
リーディング・エッジ社
Idrasys
リヴァイ

6

プロフェッショナル・ エージェンシー

クリーク・アンド・リバー社
C&Rリーガル・エージェンシー社
ジャスネットコミュニケーションズ

7

Quality of Life

クリーク・アンド・リバー社
インター・ベル
Chef's value
ALFA PMC

8

インキュベーション & デベロップメント

VR Japan	Nextrek
きづきアーキテクト	Shiftall
コネクトアラウンド	高橋書店グループ
One Leaf Clover	
C&R EVERLASTING STORY	
CREEK & RIVER Global	

全てのカテゴリで増収 6つのカテゴリで増収増益に

複数の成長エンジンが同時に稼働

1

ゲーム&
ライツマネジメント



売上高 営業利益

2

ブロードキャスティング&
動画



売上高 営業利益

3

プロモーション&
マーケティング



売上高 営業利益

4

メディカル&
ヘルスケア



売上高 営業利益

5

AI/DX・IT



売上高 営業利益

6

プロフェッショナル・
エージェンシー



売上高 営業利益

7

Quality of Life



売上高 営業利益

8

インキュベーション&
デベロップメント



売上高 営業利益

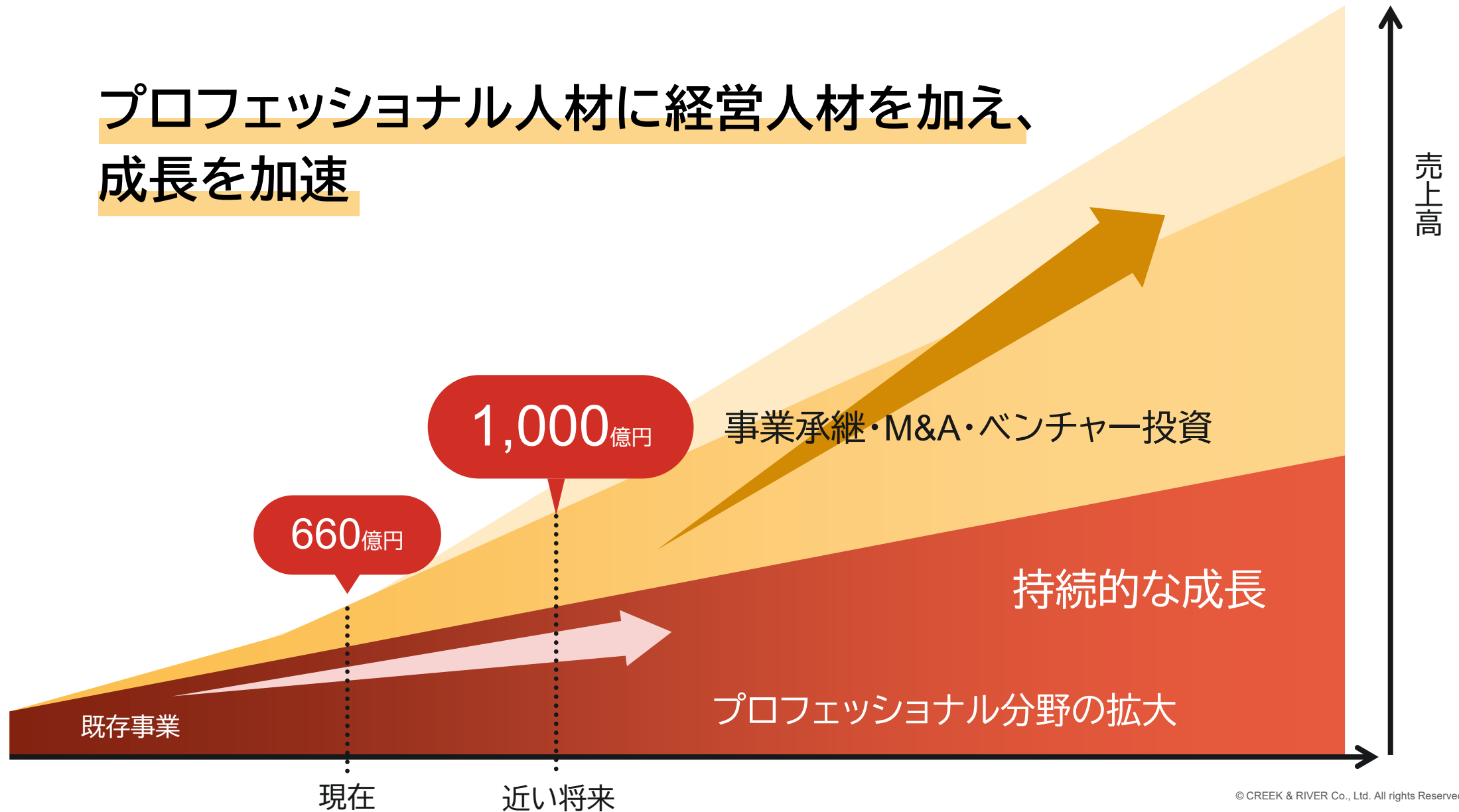
カテゴリ概況 2027年2月期第1四半期 実績

単位:百万円

	売上高			営業利益		
	2027年2月期 1Q	2026年2月期 1Q	前期比	2027年2月期 1Q	2026年2月期 1Q	前期比
① ゲーム&ライツマネジメント	4,947	4,060	121.8%	484	386	125.4%
② ブロードキャスティング&動画	3,709	3,450	107.5%	114	119	96.5%
③ プロモーション&マーケティング	2,176	2,036	106.9%	231	179	129.1%
④ メディカル&ヘルスケア	2,243	1,937	115.7%	1,038	806	128.9%
⑤ AI/DX・IT	835	758	110.1%	48	▲19	+67
⑥ プロフェッショナル・エージェンシー	618	610	101.4%	46	49	94.3%
⑦ Quality of Life	701	654	107.1%	35	23	156.3%
⑧ インキュベーション&デベロップメント	2,125	586	362.5%	297	▲62	+359
合計	17,035	13,839	123.1%	2,204	1,452	151.7%

*2027年2月期よりプロフェッショナル・エージェンシー」に含まれていた事業を「ブロードキャスティング&動画」「プロモーション&マーケティング」「AI/DX・IT」へ、「ブロードキャスティング&動画」に含まれていた事業を「プロモーション&マーケティング」へ移管。2026年2月期実績は調整済数値を記載

プロフェッショナル人材に経営人材を加え、
成長を加速



C&R EVERLASTING STORY

- 第2回「TOP MANAGEMENT CLUB」を開催 20名の経営者が集結



- 経営者の“物語”を未来へつなぐ専門誌『C.R.E.S. PARTNERS MAGAZINE』



各号50,000部を発行

**C&Rグループの営業資産を活かし、歴史・理念をまるごと承継する事業承継支援および
スタートアップ支援としてベンチャー企業13社に出資
経営者育成アカデミーを今秋開講**

高橋書店グループ

- 「手帳は高橋」 長年人気を誇る手帳・カレンダーの販売が好調



- 「ざんねんないきもの事典の最新刊 4月20日に発売



シリーズ累計発行部数555万部突破

- 「小学生からの料理のきほん」出版記念親子向けイベントを Chef's valueが運営するレストラン「Cassolo」で7月5日に開催



×  **Cassolo**
Produced by Chef's value

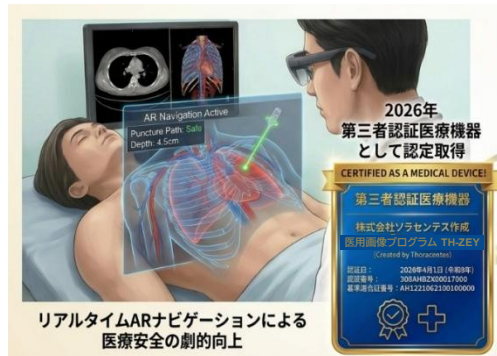


**C&Rグループとの連携により、ゲーム開発や海外販売展開、電子書籍事業の拡大など
新規事業の創出を推進し、収益基盤の強化をはかる**

C&Rグループが生み出した商品

●順天堂大学・ベンチャー発

医療機器「医用画像プログラム TH-ZEY」



●コネクトア라운드

明治大学が開発した
「サンゴ砂礫農法」で栽培したトマト



栽培した野菜を使用した
お弁当



●Shiftall製品

MeganeX8K
Mark II



高解像度VRヘッドセット

mutalk 2



ワイヤレス防音マイク

ChillerX
PRO



モデル: グレート・O・カーン(新日本プロレス)

水冷式暑熱対策ウェア

●インター・ベル

オリジナルアパレルブランド
「Touch of Grace」
(タッチ オブ グレイス)



AI活用による「プロフェッショナルの生涯価値の向上」

「人の仕事を奪うもの」ではなく、「1人あたりの価値を増やす武器」へ

「人を提供する」から「チームで成果を提供する」モデルへ転換。
プロフェッショナルとAIの組み合わせで、クライアント課題を解決

これにより、プロフェッショナル・パートナーにはAIで生まれた価値を還元し、
クライアントには従来以上の成果・効率を提供

例)

従来モデル

1プロジェクト = n人月



AI活用モデル

1プロジェクト = 1人月で同等成果

具体的な取り組み

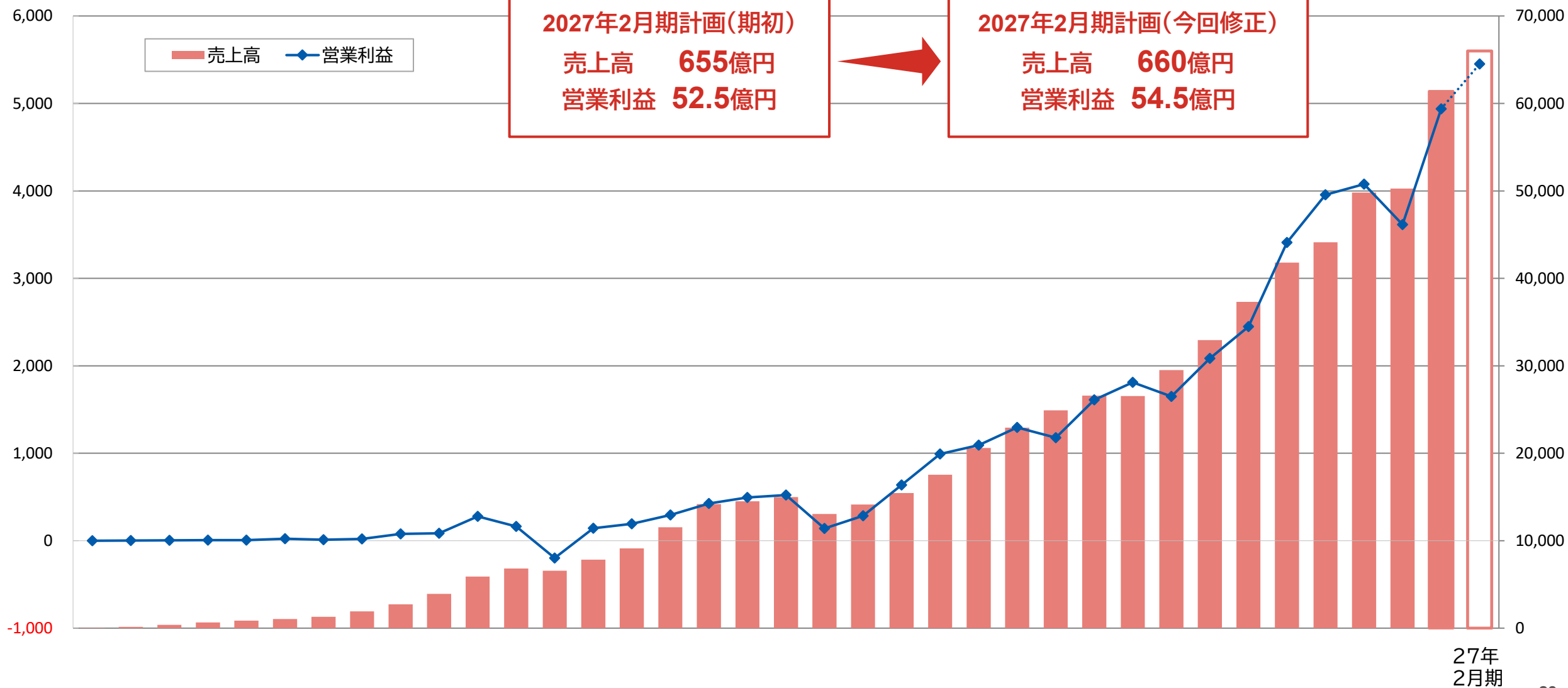
- AIソリューション提供: AI導入支援、コンサルティングの提供、AI人材の育成、プロダクト開発
- クリエイティブ制作: アウトプットに含まない一部の制作工程において活用
- クリエイティブ制作: AIアニメーション案件の受注(実写部分をAIで代替し、制作工程を大幅に削減)
- 社内オペレーションの効率化: セキュアAIを構築し、社内業務を徹底的に効率化

売上高・営業利益推移

営業利益

単位:百万円

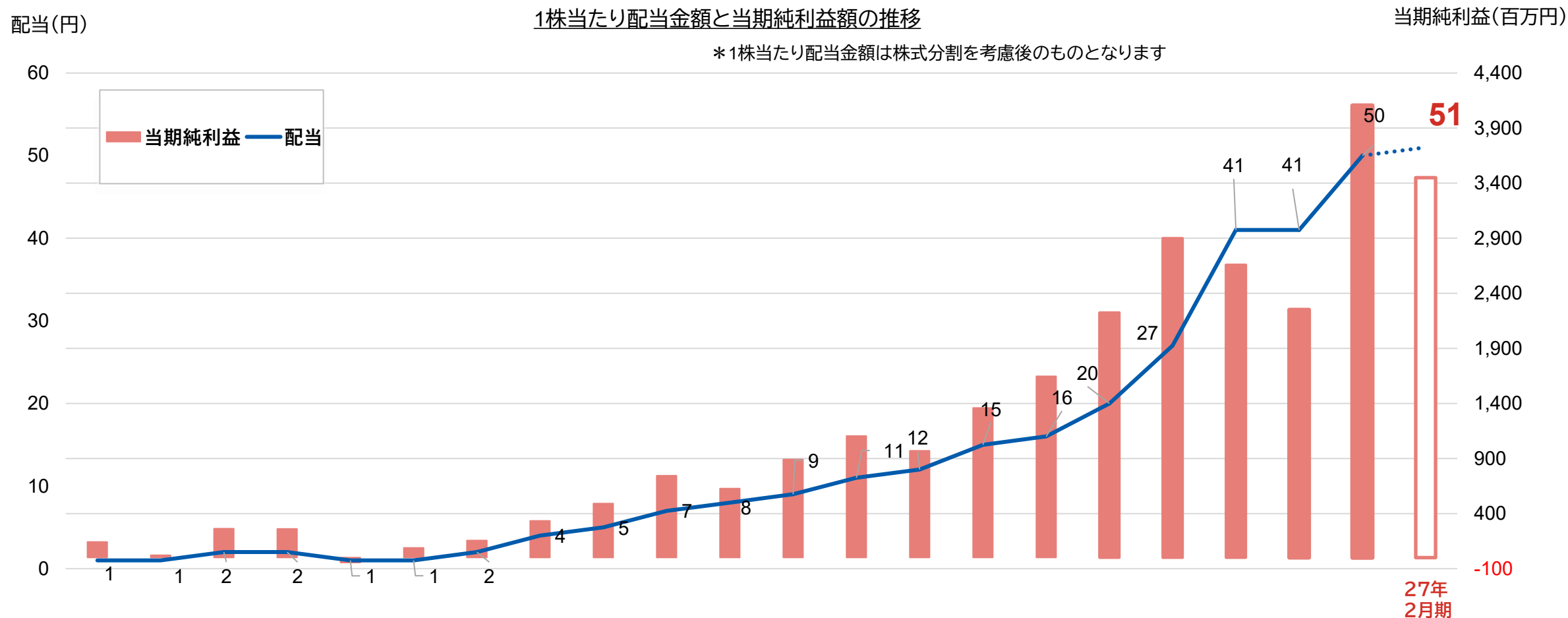
売上高



配当方針

連結配当性向30%水準とすることを基本方針として、業績と配当性向を総合的に勘案して実施

2027年2月期 1株当たりの配当は51円を予定



Appendix

クリーク・アンド・リバー社／クレイテックワークス／forGIFT／URS Games／CREEK & RIVER SHANGHAI（中国）

二桁増収増益 スタジオ機能の移転・拡張、事業提携の推進等によりさらなる拡大を見込む

売上高

（百万円）

+886
（+21.8%）

4,060

4,947

2026年2月期 1Q 2027年2月期 1Q

営業利益

（百万円）

+98
（+25.4%）

385

483

2026年2月期 1Q 2027年2月期 1Q

コメント

- 約1,600名のゲームクリエイターが稼働
- スタジオ機能を移転、拡張（1,836坪の増床）2026年5月より事業開始
- AIを積極的に活用（制作工程の効率化／AIアニメを受注）
- モントリオール支社を通じて海外からの開発案件を受託
- クレイテックワークスは黒字転換

カテゴリ概況② ブロードキャスティング & 動画

クリーク・アンド・リバー社／ウイング／シオン／シオンステージ／
CREEK & RIVER ENTERTAINMENT (韓国) / CREEK & RIVER KOREA(韓国)

売上高は堅調 韓国子会社の苦戦により利益は前期比横ばい

売上高

(百万円)

+258
(+7.5%)

3,450 → 3,709

2026年2月期 1Q 2027年2月期 1Q

営業利益

(百万円)

▲4
(▲3.5%)

119 → 114

2026年2月期 1Q 2027年2月期 1Q

コメント

- 約2,100名のクリエイターが稼働
- テレビ局向け人材派遣は堅調に推移
- 当社グループの担当する番組が多数放映

・日本テレビ「踊るさんま御殿」(シオン制作協力)
・日本テレビ「ぐるナイ」(シオン制作協力)
・日本テレビ「THE突破ファイル」(シオン制作協力)
・日本テレビ「timelesz ファミリア」(シオン制作協力)
・日本テレビ「スクール革命」(シオン制作協力)
・日本テレビ「THE FLOOR」(C&R社制作協力)
・TBS「マツコの知らない世界」(シオン制作協力)
・TBS「THE 神業チャレンジ」(シオン制作協力)
・TBS「ハマダ歌謡祭★オオカミ少年」(シオン制作協力)
・TBS「坂上&指原のつぶれない店」(C&R社制作協力)
・TBS「THEシン世界サミット」(C&R社制作協力)
・TBS「こちけんリアピのてれび1年生」(C&R社制作協力)
・フジテレビ「ツッコミ芸人No.1 決定戦 ツッコミスター」(シオン制作協力)
・テレビ朝日「くりいむクイズ ミラクル9」(シオン制作協力)
・テレビ東京「ソレダメ!～あなたの常識は非常識!～」(C&R社制作協力)
・テレビ東京「おはスタ」(シオン制作協力)
・名古屋テレビ「オカムラ麺ズ倶楽部」(シオン共同制作)
・MBS毎日放送「自撮りで集まれ ～うしろのアレ何?～」(シオン共同制作)
・日本テレビ&hulu「The Fashion Post」(シオン制作協力)
・Lemino「PRODUCE 101 JAPAN 新世界」(シオン制作協力)
・FANY:D ショートドラマ「君のカラダに恋してる」(シオン制作協力)

クリーク・アンド・リバー社

企業や官公庁等のプロモーション需要に対応し、増収増益

売上高

(百万円)

+140
(+6.9%)

2,036

2,176

2026年2月期 1Q 2027年2月期 1Q

営業利益

(百万円)

+52
(+29.1%)

179

231

2026年2月期 1Q 2027年2月期 1Q

コメント

- オンラインクリエイターグループを統合し、企業向けプロモーションを強化
- 約750名のクリエイターが稼働
- カメラマン・ライターネットワークが720名(前年比+120名)に拡大中
- 全37ユニット(クリエイターを組み合わせたチーム)が大手クライアントに対応中
- 2025年10月にクオン(株)と共同で立ち上げたAI駆動型ファンコミュニティモール「りろかる」は10自治体、5団体、複数企業が導入決定

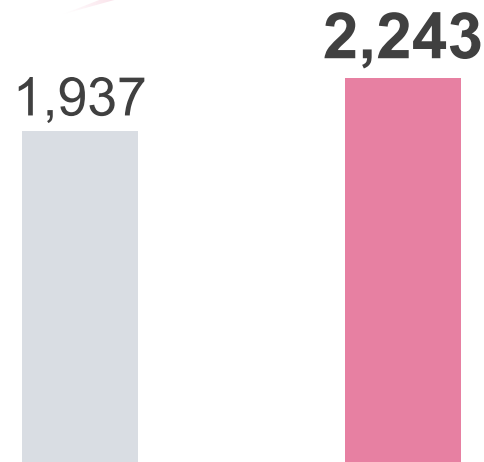
メディカル・プリンシプル社 / コミュニティ・メディカル・イノベーション

医師の紹介事業が好調に伸長し、増収増益 医療施設の事業承継を本格的に展開

売上高

(百万円)

+306
(+15.7%)

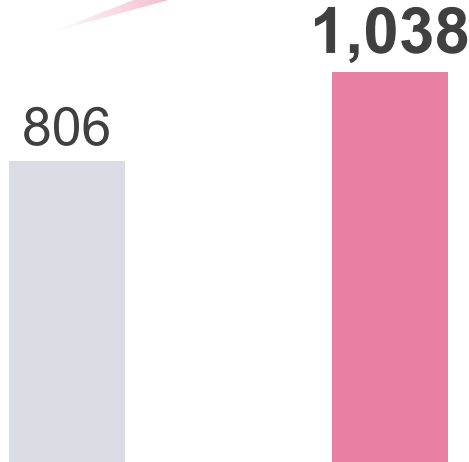


2026年2月期 1Q 2027年2月期 1Q

営業利益

(百万円)

+232
(+28.9%)



2026年2月期 1Q 2027年2月期 1Q

コメント

- 医師の紹介事業が順調に伸長し、過去最高の業績
- 医師の常勤(転職支援)売上は前年比+25.9%と好調
- 医学生・研修医向けイベント「レジナビフェア」は抜群の集客力を誇る(2026年のべ参加人数は8,000人)
- 現在経営支援する医療施設は3施設
- 事業承継・開業支援事業 5～7月までの新規開業5件

クリーク・アンド・リバー社 / リーディング・エッジ社 / Idrasys / リヴァイ

順調に事業が伸長 二桁増収増益

売上高

(百万円)

+77
(+10.1%)

758

835

2026年2月期 1Q 2027年2月期 1Q

営業利益

(百万円)

+67
(+151.0%)

48

▲19

2026年2月期 1Q 2027年2月期 1Q

コメント

- 約270人のDXエンジニアが稼働
- 生成AIコンサルティング事業を展開
- ツールベンダー支援サービス「DXの森」では提携パートナーが順調に拡大
- 資本提携先である台湾のAI企業・Intumit社は、TPEx(タイパイ・エクスチェンジ)に上場(2025年7月) 2026年4月時点での時価総額: 19.7億台湾ドル(約100億円)

C&Rリーガル・エージェンシー社（法曹）／ ジャスネットコミュニケーションズ（会計）

人材紹介事業の不振は回復傾向ではあるものの未だ継続 増収減益

売上高

（百万円）

+8
(+1.4%)

610

618

2026年2月期 1Q 2027年2月期 1Q

営業利益

（百万円）

▲3
(▲5.7%)

49

46

2026年2月期 1Q 2027年2月期 1Q

コメント

- 法曹関連（弁護士）の人材紹介事業の不振が影響 会計関連は復調に転じる
- 9月開催予定の「会計事務所博覧会 2026」に49社が出展決定
- 現在のネットワークは弁護士など法曹人材24,480名（日本の弁護士の38%）、会計士・経理人材78,000名

クリーク・アンド・リバー社 / インター・ベル (ファッション) / Chef's value (食) / ALFA PMC (建築)

建築分野の収益が改善 増収増益 但し、建築費高騰の影響は継続

売上高

(百万円)

+47
(+7.1%)

654

701

2026年2月期 1Q 2027年2月期 1Q

営業利益

(百万円)

+12
(+56.3%)

23

35

2026年2月期 1Q 2027年2月期 1Q

コメント

- オリジナルファッションブランドは「ECLECT(エクレクト)」に続き、女性向けゴルフウェアブランド「Touch of Grace (タッチオブグレース)」を展開
- 本社ビル「新虎通りCORE」にて運営するイタリアンレストラン「Cassolo」は黒字定着 店舗を通じて料理人の独立を支援(西新宿に第1号店オープン)
- 建築分野は建築費高騰の影響等により、プロジェクトが遅延

VR Japan／きづきアーキテクト／コネクトアラウンド／ One Leaf Clover／ Nextrek
C&R EVERLASTING STORY／Shiftall／高橋書店グループ／CREEK & RIVER Global

高橋書店グループにより大幅増収増益

売上高

(百万円)

+1,539
(+262.5%)

2,125

586

2026年2月期 1Q 2027年2月期 1Q

営業利益

(百万円)

+359
(+379.6%)

297

▲62

2026年2月期 1Q 2027年2月期 1Q

コメント

- 高橋書店グループの損益を計上(前期第1四半期は損益の反映無し)
- アグリカルチャー分野の子会社コネクトアラウンドにおいて、福島県大熊町に複合施設を運営 赤字額は39百万円
- 9社(グループ)のうち4社が赤字 赤字総額は47百万円 前期より59百万円改善

カテゴリ別 2027年2月期 通期業績予想

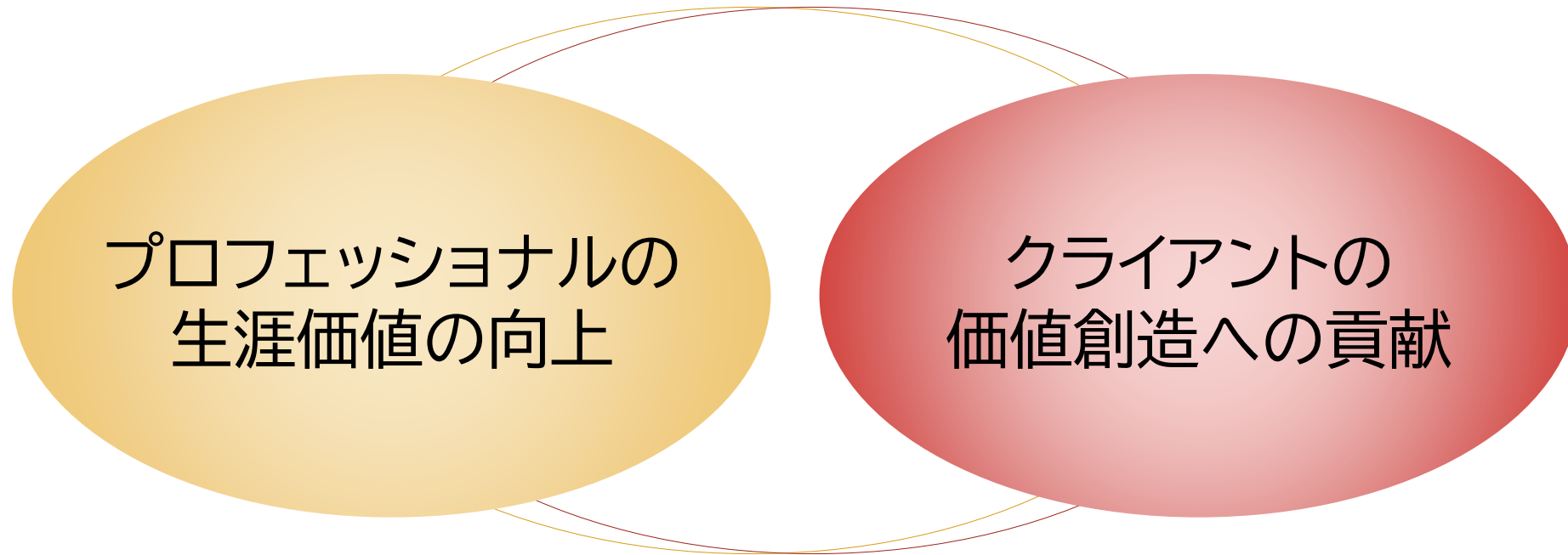
全てのカテゴリで増収増益を計画 スタジオ移転・拡張等の投資コストを吸収しグループの拡大を目指す

単位:百万円

	売上高			営業利益		
	2027年2月期 計画(通期)	2026年2月期 実績(通期)	前期比	2027年2月期 計画(通期)	2026年2月期 実績(通期)	前期比
① ゲーム&ライツマネジメント	19,100	17,867	106.9%	1,725	1,590	108.4%
② ブロードキャスティング&動画	14,500	14,086	102.9%	612	567	108.0%
③ プロモーション&マーケティング	9,200	8,673	106.1%	915	832	110.0%
④ メディカル&ヘルスケア	6,470	5,787	111.8%	1,720	1,437	119.7%
⑤ AI/DX・IT	3,680	3,319	110.9%	190	98	193.7%
⑥ プロフェッショナル・エージェンシー	2,500	2,349	106.4%	150	99	150.1%
⑦ Quality of Life	2,840	2,652	107.1%	125	71	174.5%
⑧ インキュベーション&デベロップメント	9,745	7,999	121.8%	680	477	142.6%
合計	66,000	61,393	107.5%	5,450	4,938	110.4%

*2027年2月期よりプロフェッショナル・エージェンシー」に含まれていた事業を「ブロードキャスティング&動画」「プロモーション&マーケティング」「AI/DX・IT」へ、「ブロードキャスティング&動画」に含まれていた事業を「プロモーション&マーケティング」へ移管。2026年2月期実績は調整済数値を記載

C&Rグループのミッション



C&Rグループが定義する「プロフェッショナル」

1.

世界中で
活躍できる職種



2.

機械では
代わることができない職種



3.

知的財産が
蓄積される職種



事業の3つの柱

ライツマネジメント
(知的財産の企画開発・流通)

プロデュース
(開発・請負)

エージェンシー
(派遣・紹介)

C&Rグループ ビジネスモデル 主な取り組み

ライツマネジメント (知的財産の企画開発・流通)

自社商品

 高橋書店

さんねんないきもの事典
手帳・カレンダー



 Shiftall

MeganeX 8K Mark II
HaritoraX 2 Pro



ATFES
アトフェス®

人気ゲーム・アニメ等のコラボイベント
「アトフェス®」企画・運営



漫画・小説制作スタジオ
「漫画LABO」

オリジナルコミックの企画・制作

プロデュース (開発・請負)

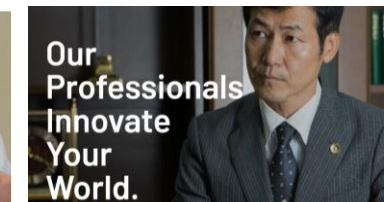
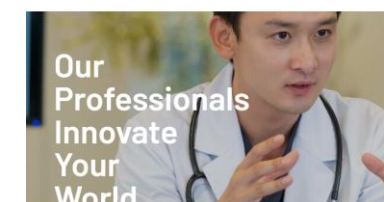


「秋山と映画」



テレビ番組やゲーム制作、各種プロモーション等を展開

エージェンシー (派遣・紹介)



プロフェッショナルに特化したエージェンシー

クリエイティブ分野(日本)

映像・TV・動画・ゲーム・Web・出版・建築・
データサイエンス等分野

【プロデュース、ライツマネジメント、エージェンシー事業】

対象企業6社

・クリーク・アンド・リバー社 ・シオン
・クレイテックワークス ・シオンステージ
・ウイング ・URS Games

クリエイティブ分野(韓国)

映像・TV・動画・ゲーム・Web・出版分野

【プロデュース、ライツマネジメント、エージェンシー事業】

対象企業2社

・CREEK & RIVER ENTERTAINMENT
・CREEK & RIVER KOREA

医療分野

ドクター紹介、医学生・研修医支援サービス、
医療業界向けの情報誌出版
クリニックの経営支援、ライフサイエンス分野

【エージェンシー、プロデュース事業】

対象企業2社

・メディカル・プリンシプル社
・コミュニティ・メディカル・イノベーション

会計・法曹分野

公認会計士・税理士・財務・経理
弁護士・司法書士・弁理士・
法務スタッフ等

【エージェンシー、プロデュース事業】

対象企業2社

・ジャスネットコミュニケーションズ
・C&Rリーガル・エージェンシー社

CRES分野

経営者・上場企業役員経験者・
CEO・COO・CFO等

【エージェンシー事業】

対象企業6社

・C&R EVERLASTING STORY
・高橋書店グループ(5社)

その他

IT・ファッション・食・アグリカルチャー分野 【エージェンシー、プロデュース事業】
AI、XR、NFT等の先端技術やライツマネジメント、プロデュース
ノウハウを活用した事業開発

対象企業17社

・リーディング・エッジ社 ・CREEK & RIVER SHANGHAI ・インター・ベル
・VR Japan ・CREEK & RIVER Global
・きづきアーキテクト ・forGIFT ・Idrasys ・コネクトアラウンド
・One Leaf Clover ・Chef's value
・Nextrek ・ALFA PMC ・Shiftall ・リヴァイ

※持分法適用
jeki Data Driven Lab
エージェント・グローース

* 下線は2026年2月期以降に設立(グループ化)した会社

セグメント別 2027年2月期 第1四半期 実績

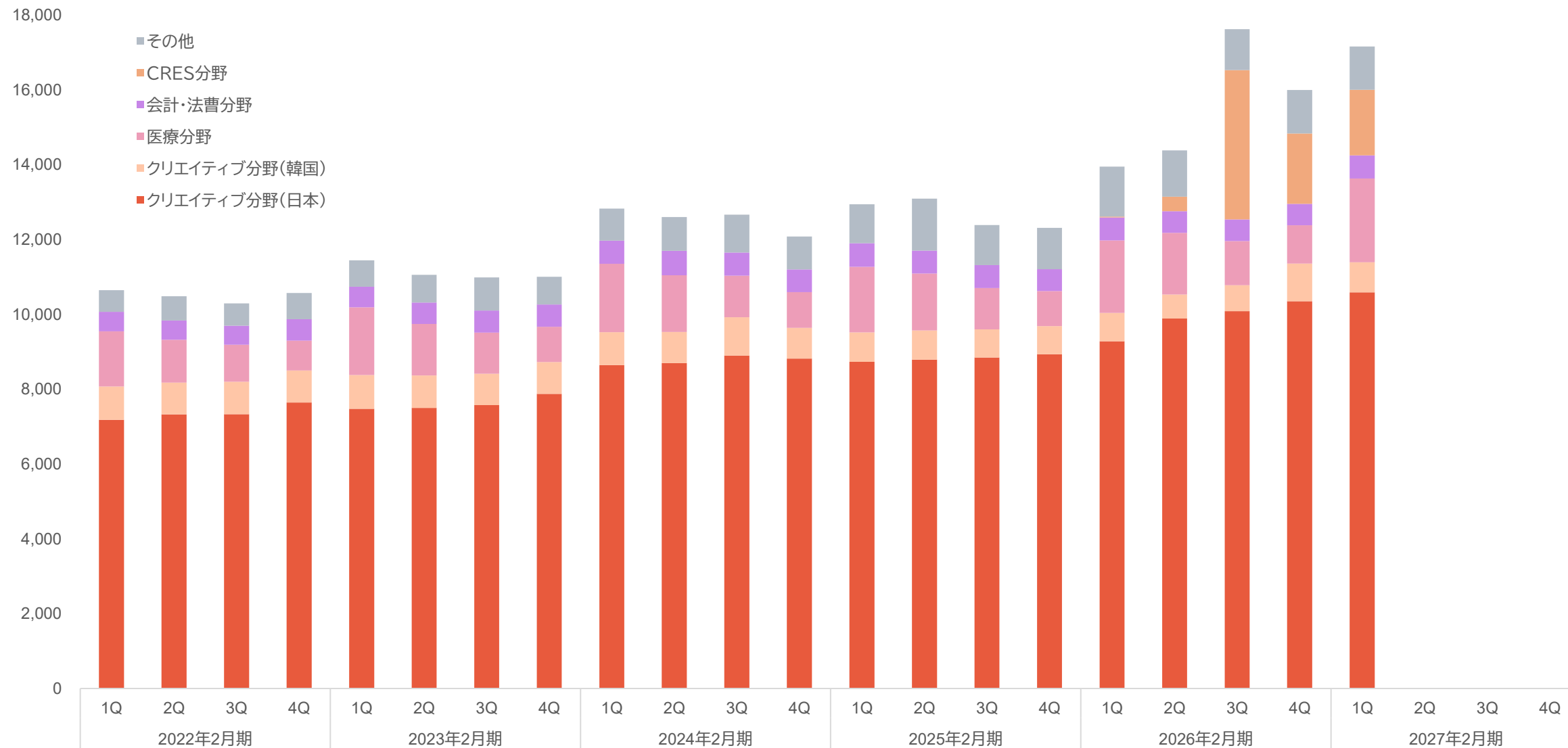
単位:百万円

	売上高				営業利益			
	2027年2月期 1Q	2026年2月期 1Q	前期比	修正計画比 (通期)	2027年2月期 1Q	2026年2月期 1Q	前期比	修正計画比 (通期)
クリエイティブ分野(日本) *6社	10,590	9,280	114%	25%	818	664	123%	27%
クリエイティブ分野(韓国) *2社	802	763	105%	26%	▲18	▲5	▲13	-
医療分野 *2社	2,242	1,937	116%	35%	1,038	805	129%	60%
会計・法曹分野 *2社	618	609	102%	25%	45	48	94%	31%
CRES分野 *6社	1,752	22	7,660%	22%	310	▲8	+319	39%
その他 *17社	1,155	1,339	86%	23%	10	40	+51	-
計	17,034	13,839	123%	26%	2,204	1,452	152%	40%

※消去の記載は省略しております

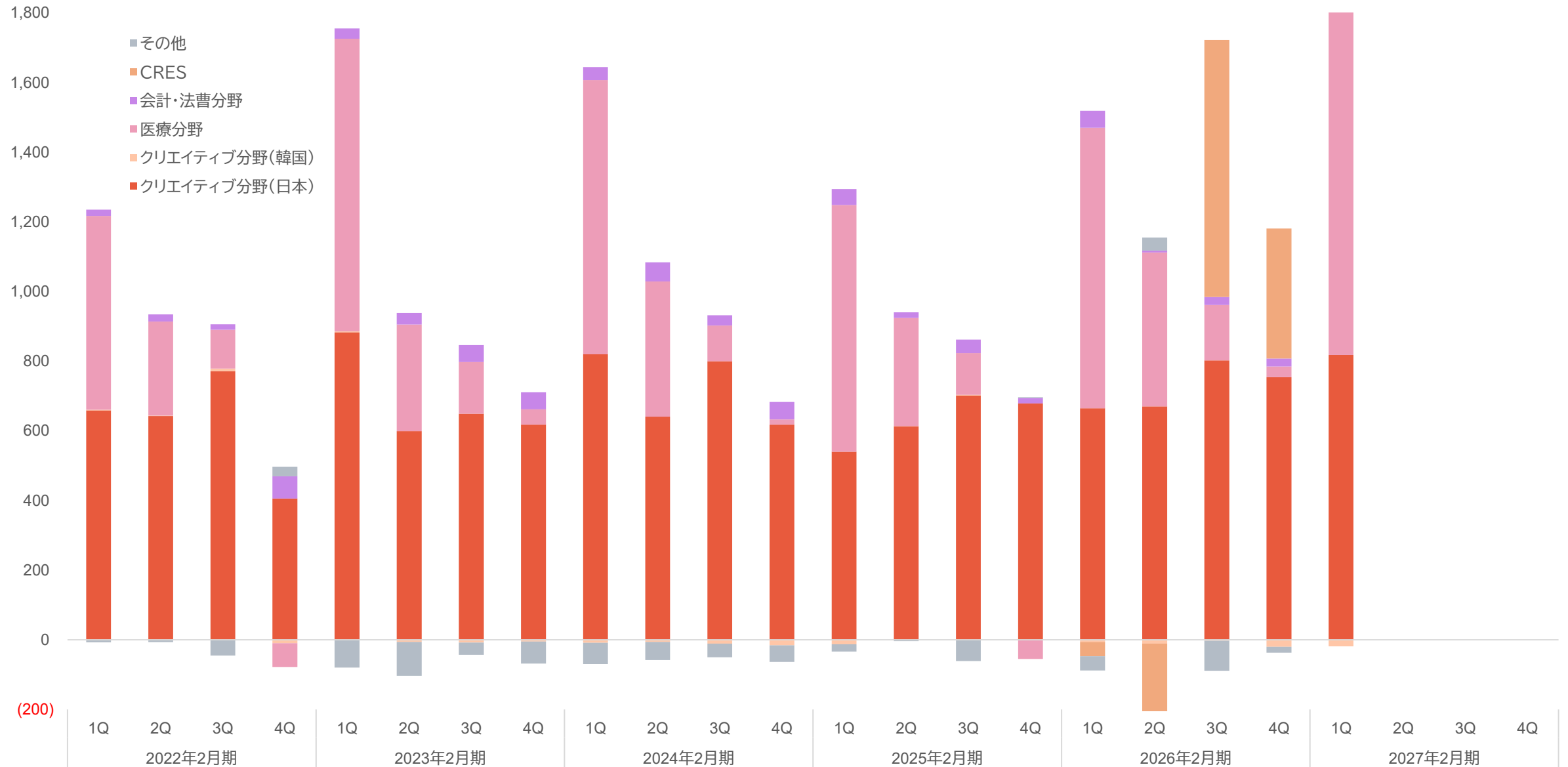
セグメント別 連結売上高の四半期推移

単位:百万円



セグメント別 連結営業利益の四半期推移

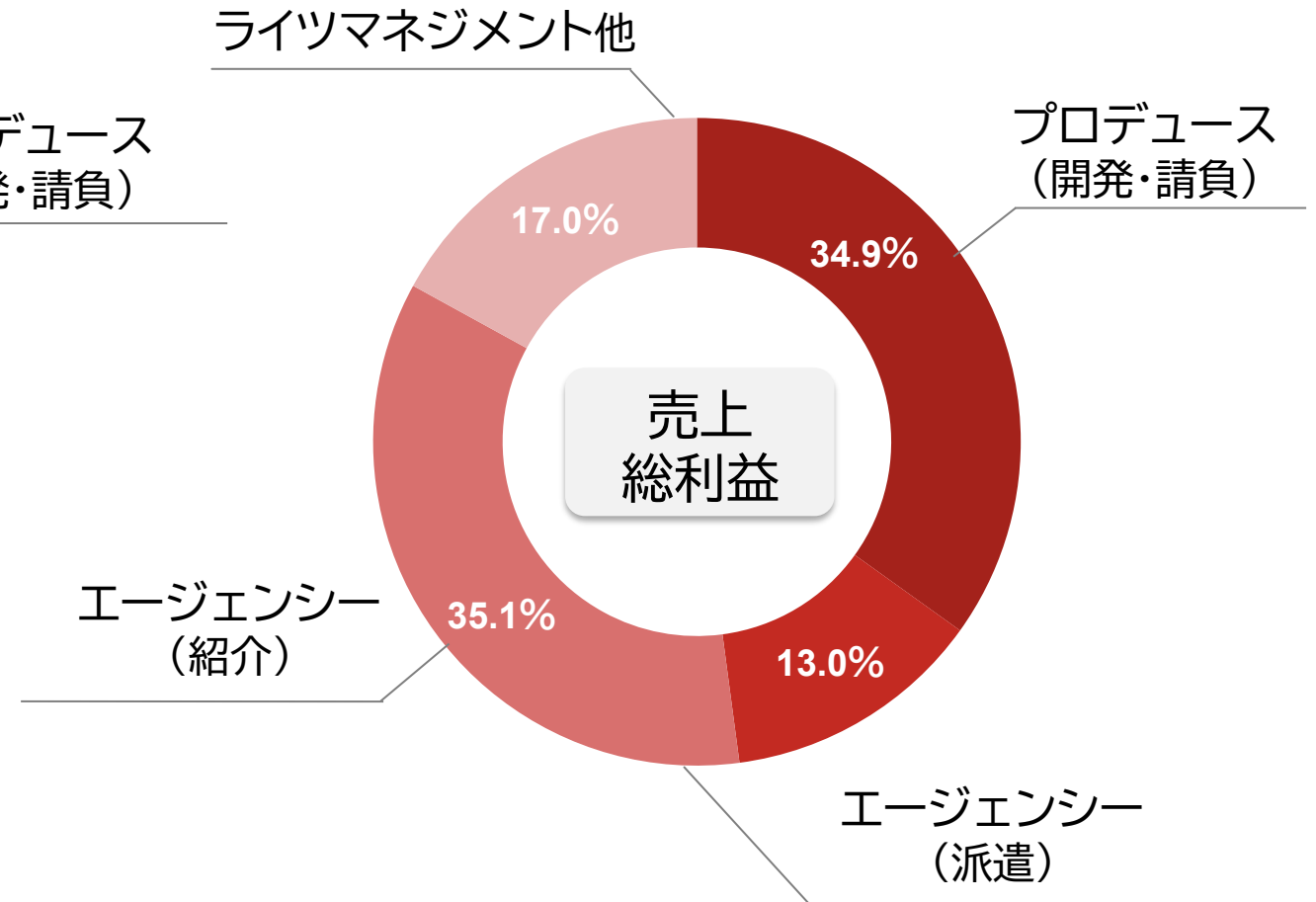
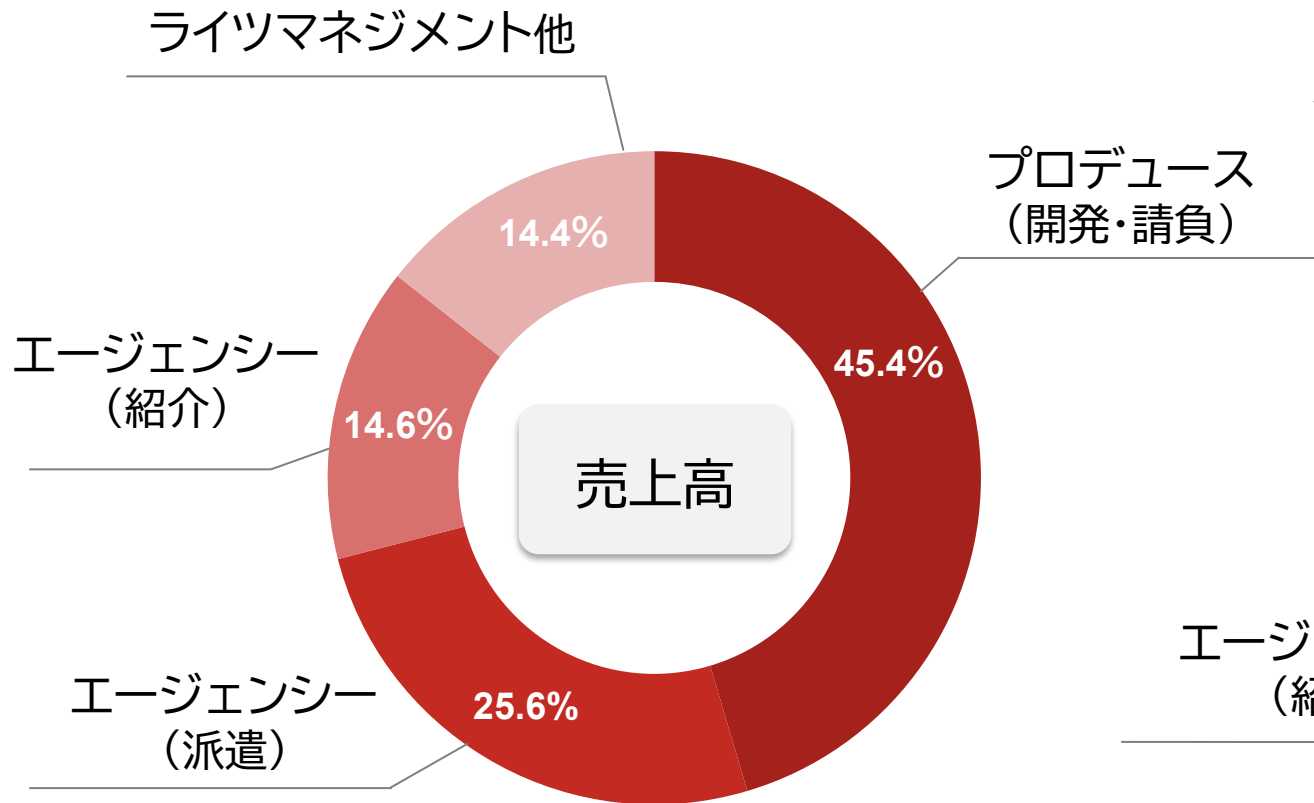
単位:百万円

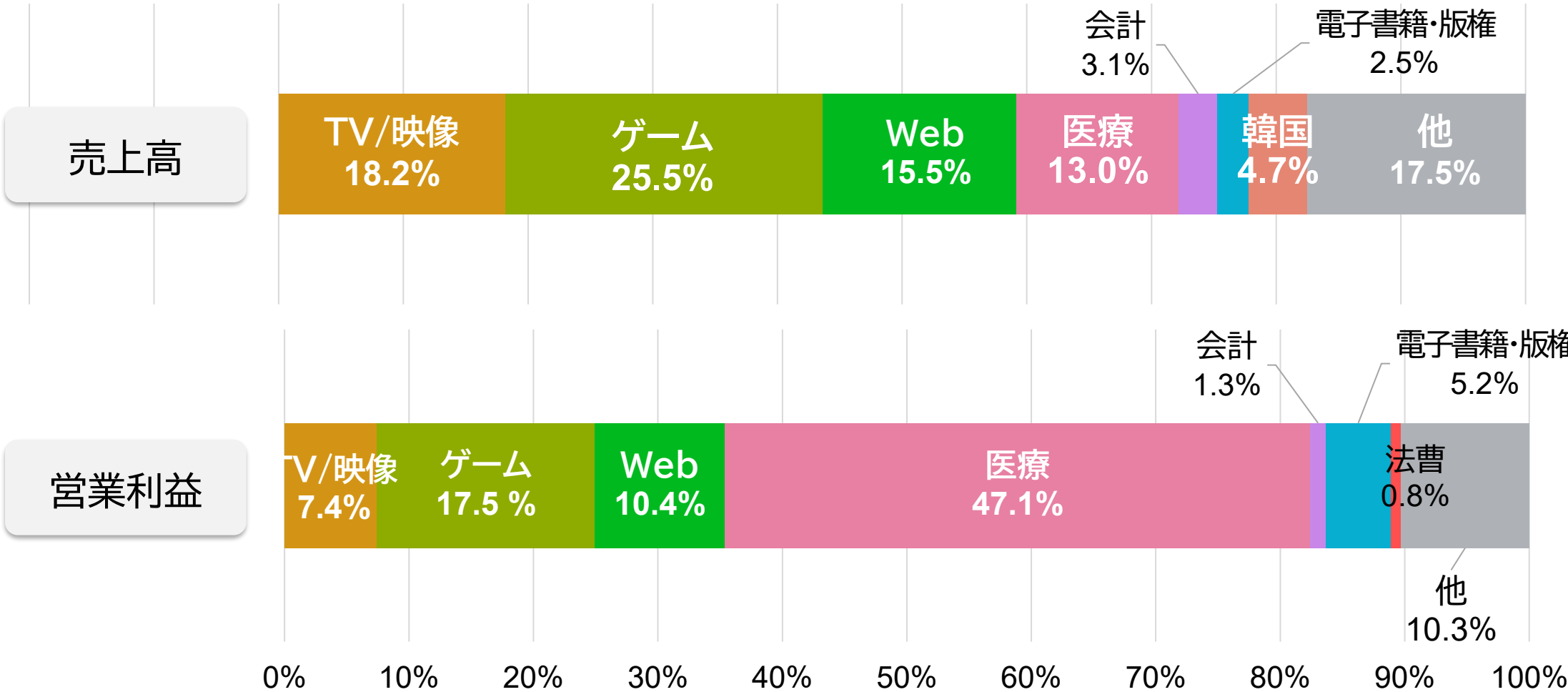


事業のマッピング

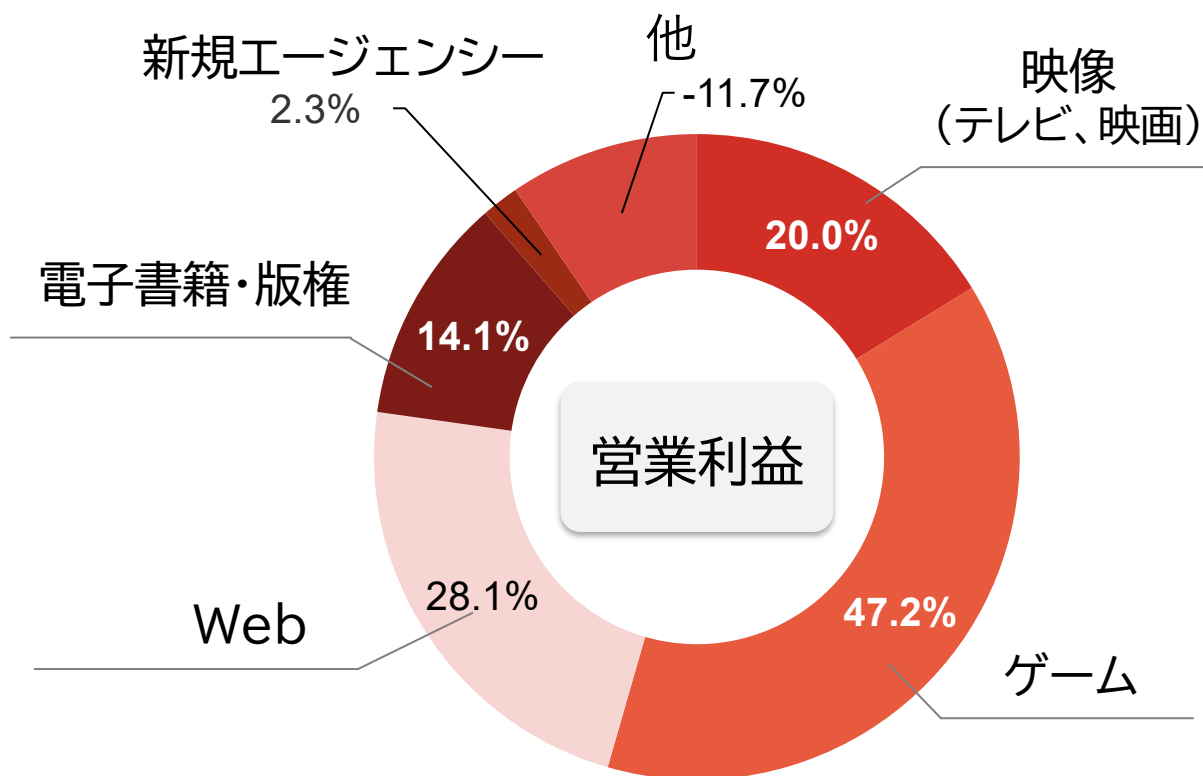
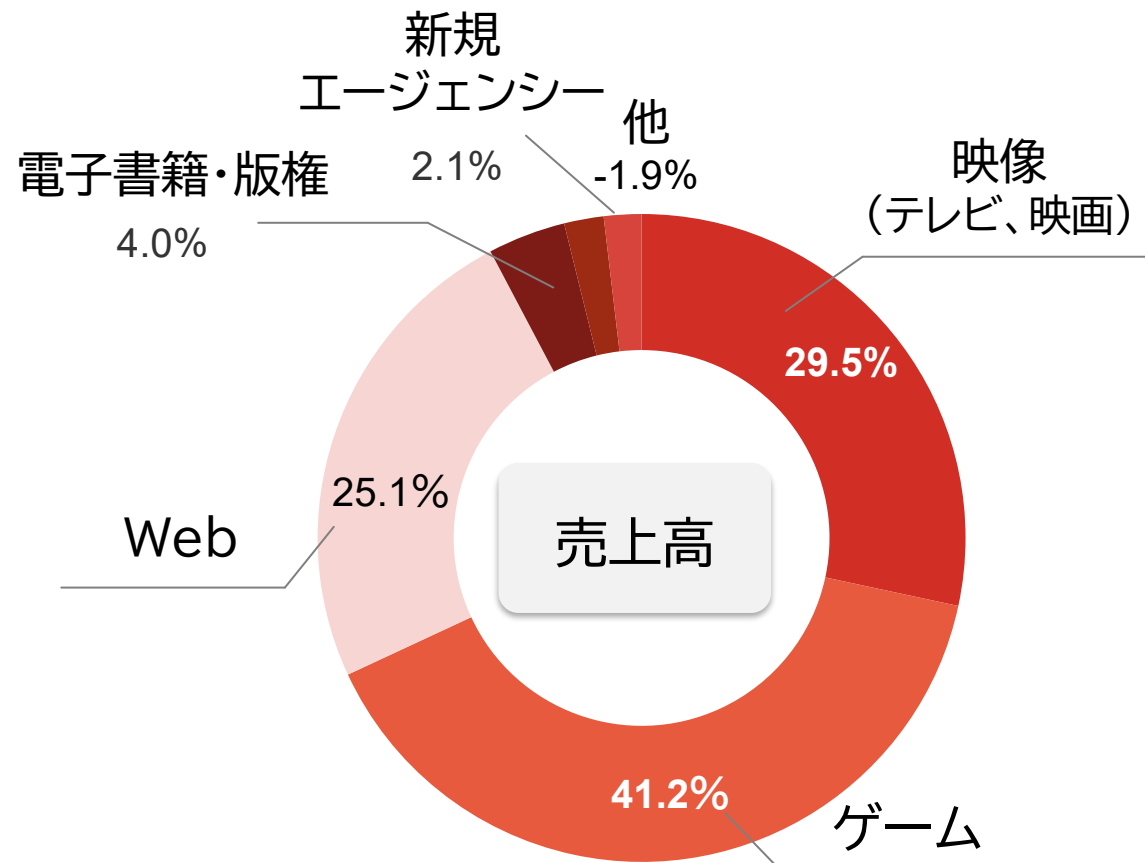
◎:主力事業として取り組んでいる ○:新規事業として取り組んでいる ×:法律上事業展開できない

セグメント	プロフェッショナル分野														
	TV 映画 映像	ゲーム	Web	広告 出版	建築	AI/DX	医療	ライフ サイエ ンス	会計	法曹	CXO	ファッ ション	食	アグリ カル チャー	IT
	クリエイティブ(日本)					医療		会計・法曹		CRES	その他				
ライツマネジメント	◎	◎		◎	○	○				○		○		○	○
プロデュース (開発・請負)	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	×		○	○	○	◎
エージェンシー (派遣)	◎	◎	◎	◎	◎	○	×	◎	◎	×	○	◎	○		◎
エージェンシー (紹介)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎		○





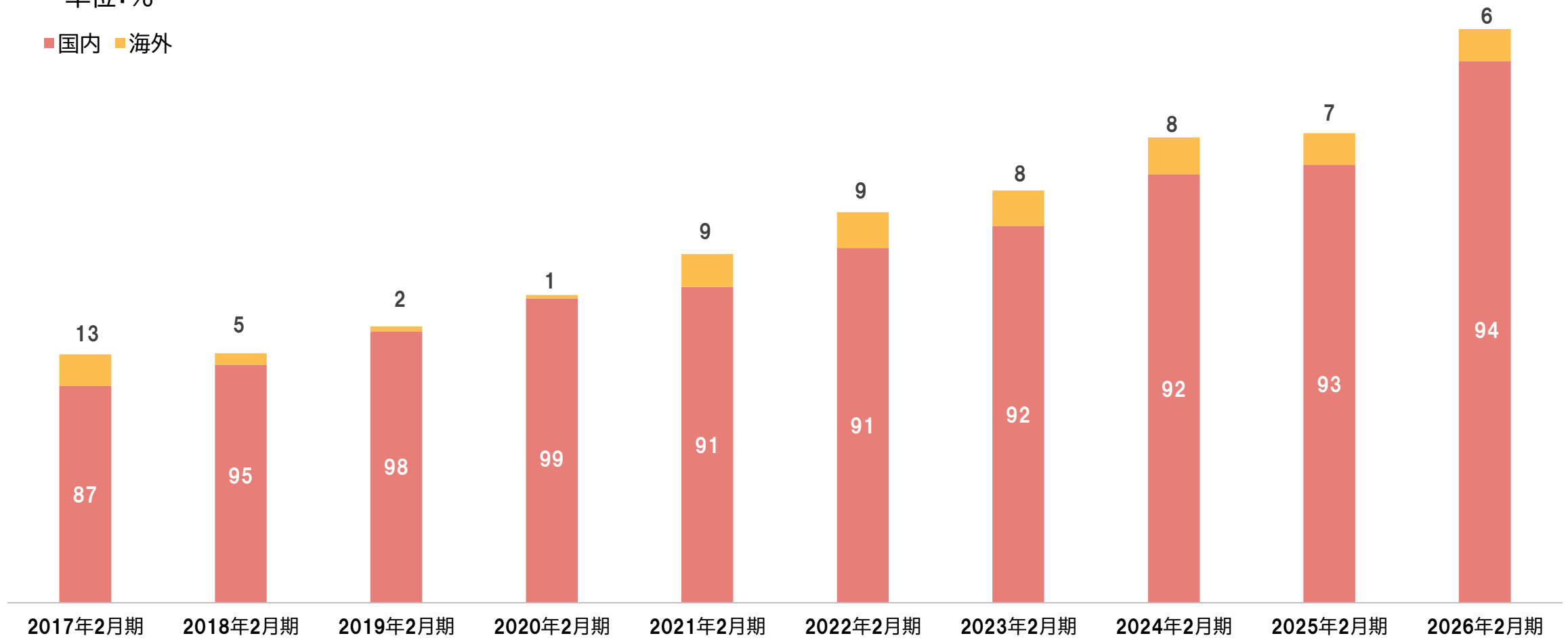
クリエイティブ分野(日本)領域別割合



国内・海外別 連結売上高の推移

単位: %

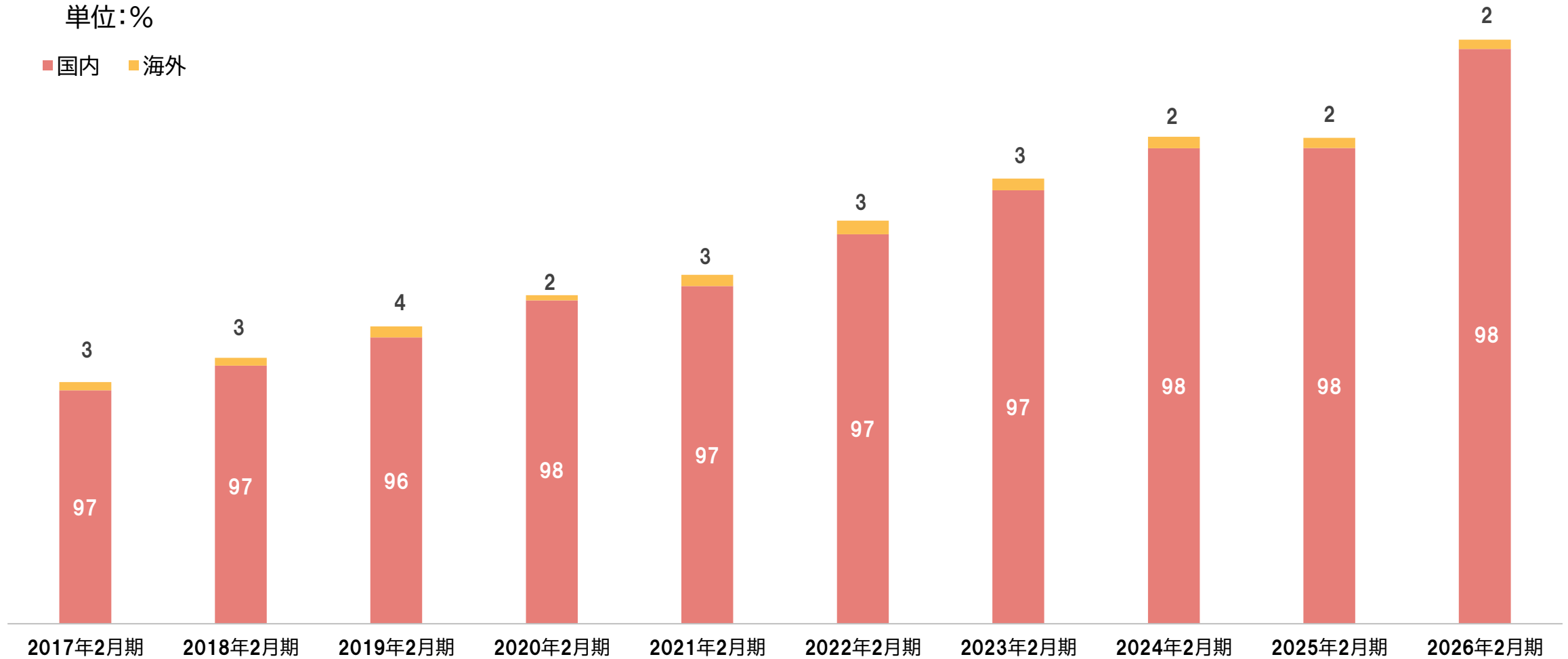
■ 国内 ■ 海外



国内・海外別 連結営業利益の推移

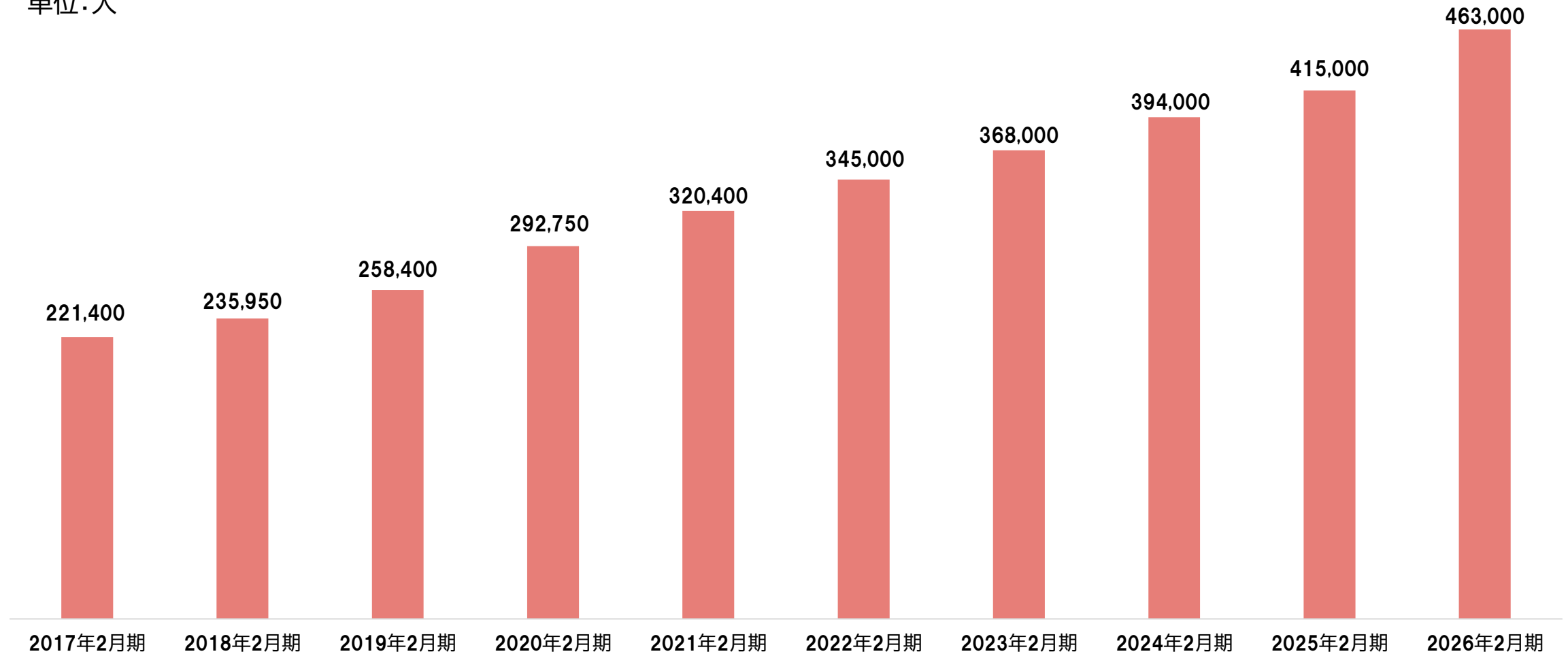
単位: %

■ 国内 ■ 海外

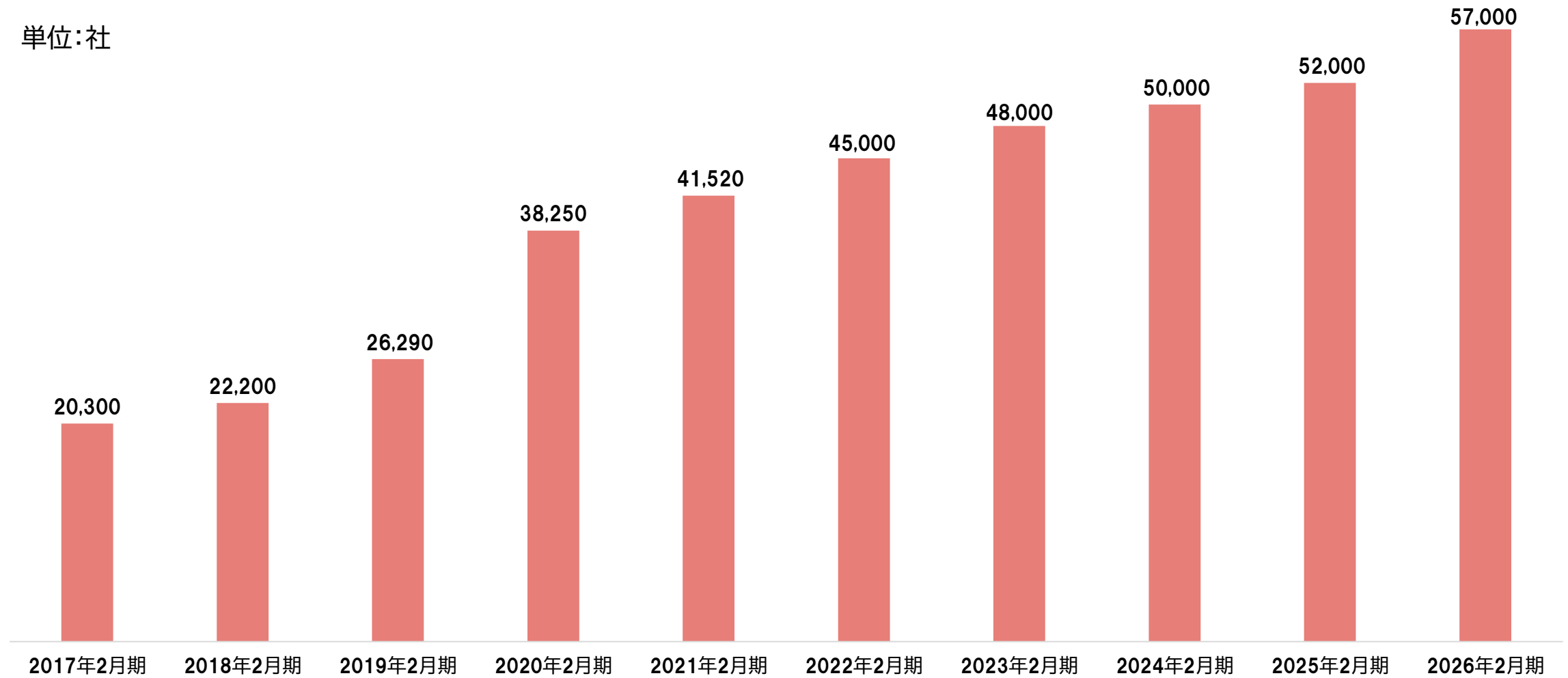


プロフェッショナル数推移

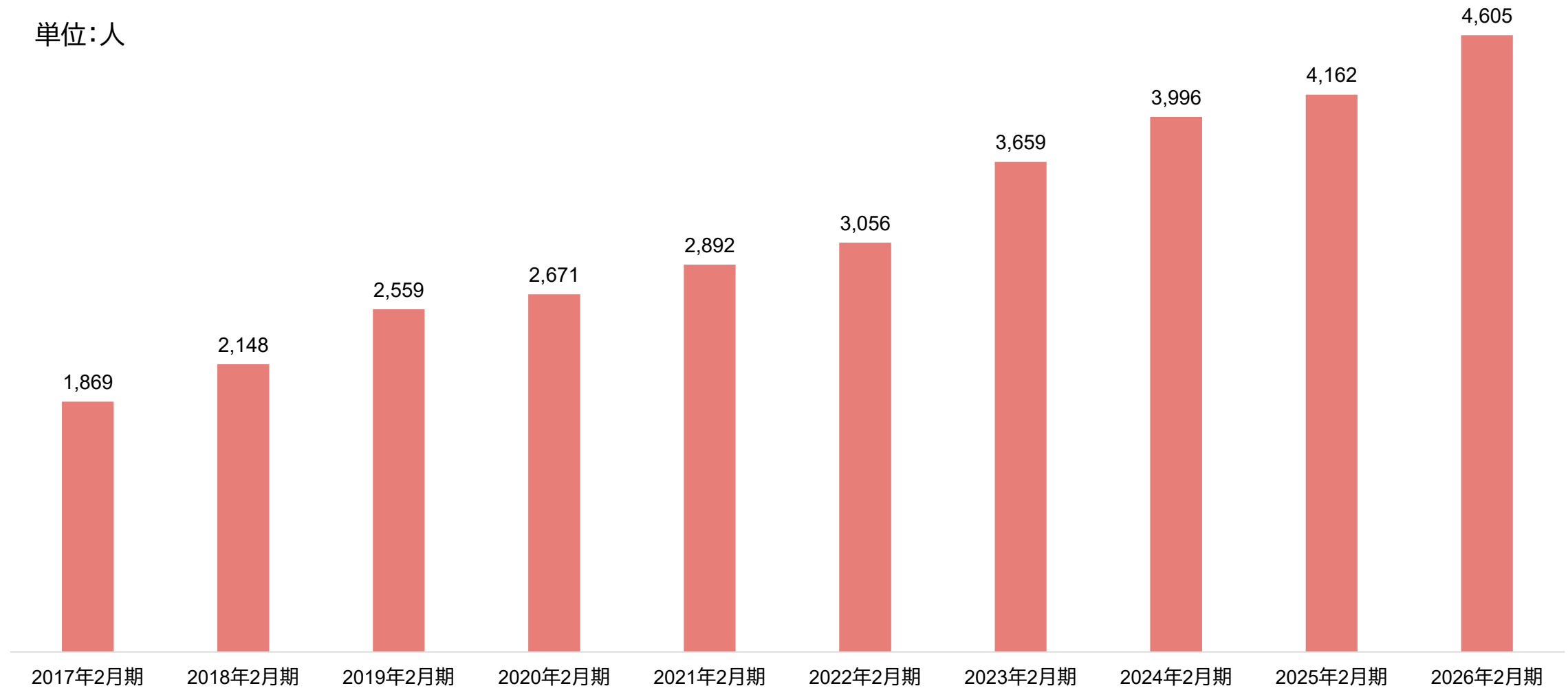
単位:人



単位:社



単位:人

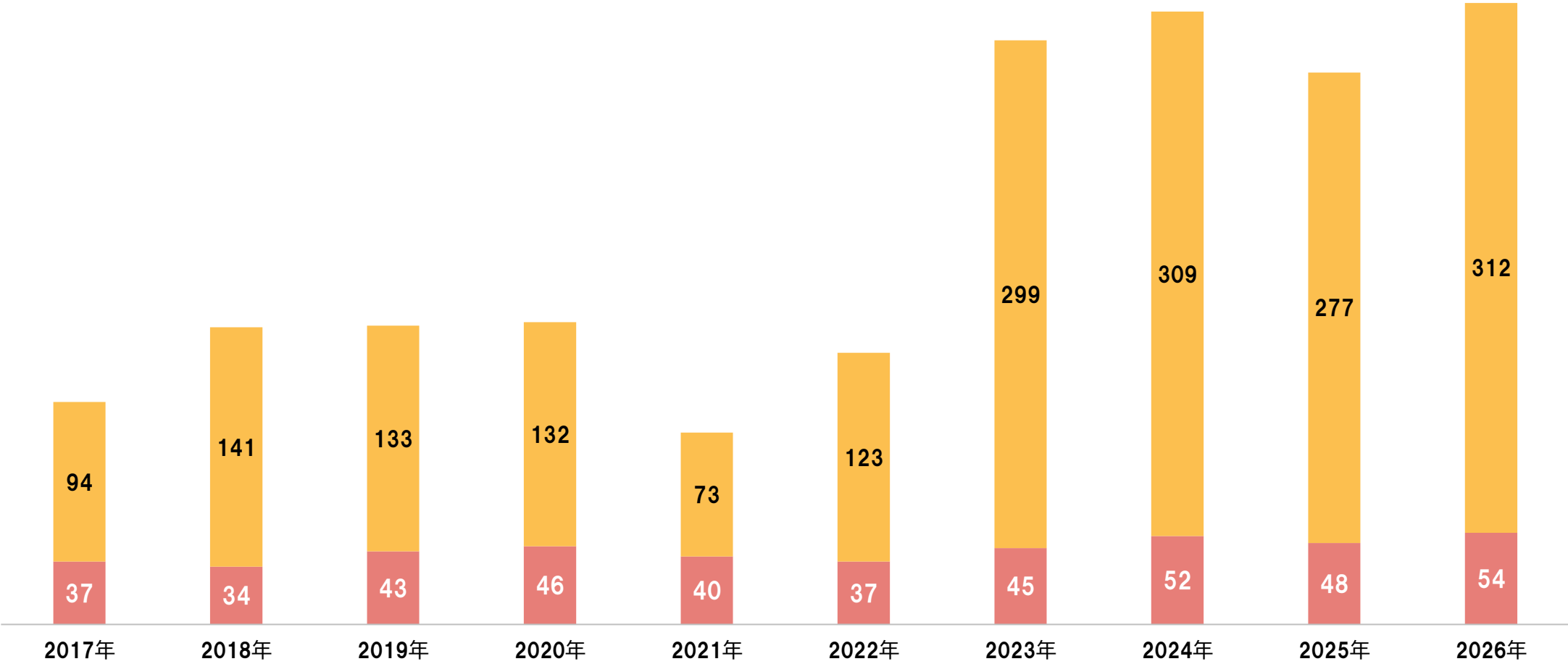


※期末時点の数値

新卒社員数推移

単位:人

■ 専門職 ■ 総合職

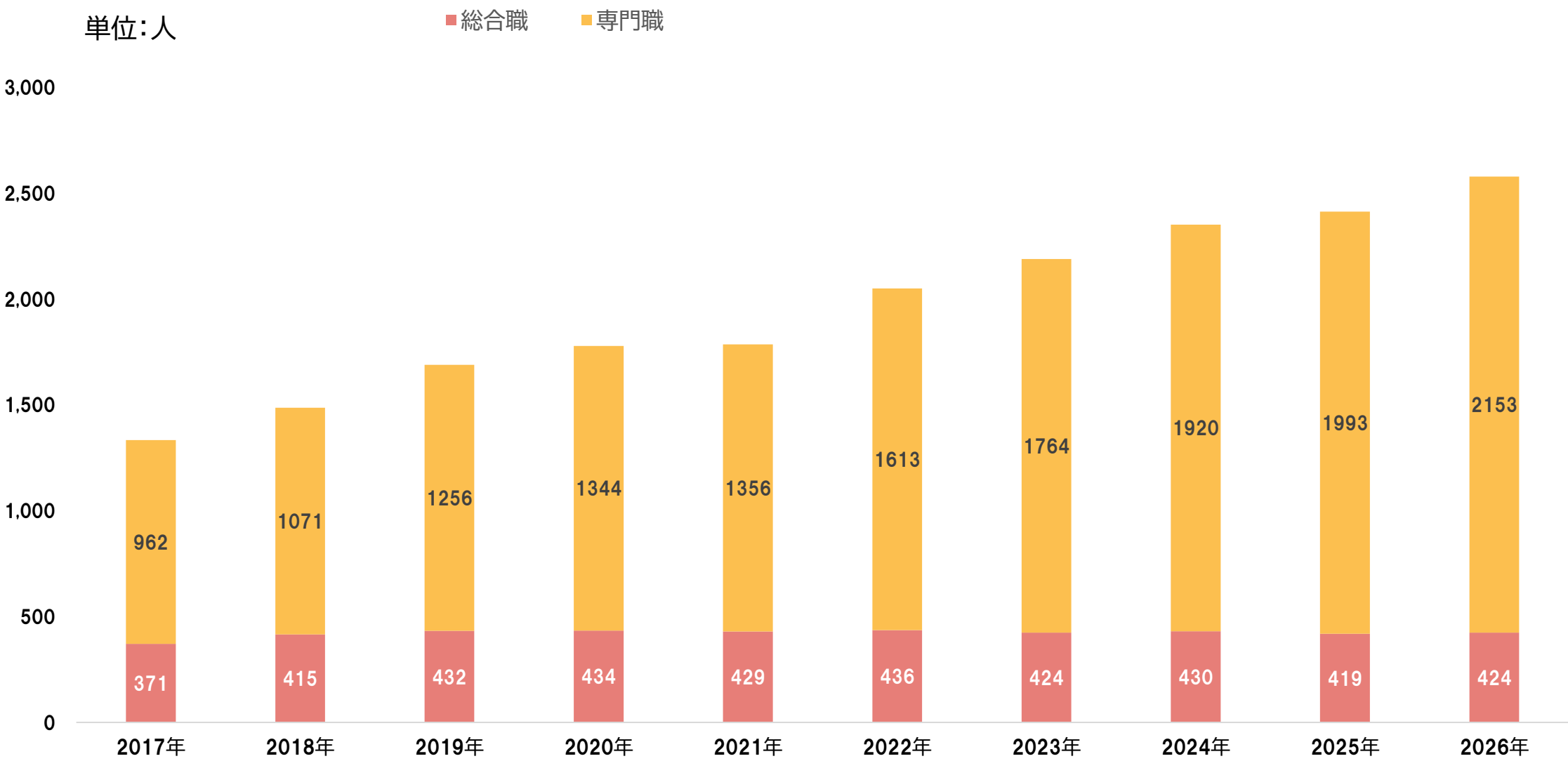


2026年4月入社の新入社員は、366人(総合職:54人/専門職:312人)

(単位:人)

	2023年	2024年	2025年	2026年
()は専門職人数				
クリエイティブ分野(日本)	277(247)	316(279)	276(253)	313(283)
医療分野	9(-)	10(-)	11(-)	11(-)
会計・法曹分野	6(-)	5(-)	3(-)	4(-)
その他	52(52)	30(30)	35(24)	38(29)
計	344(299)	361(309)	325(277)	366(312)

総合職・専門職社員数推移



C&Rグループのサステナビリティの取り組み

サステナビリティ基本方針

C&Rグループの統括理念「人の能力は、無限の可能性を秘めています。私たちは、その能力を最大限に引き出し、人と社会の幸せのために貢献します。」に基づく当社グループの使命「すべてのステークホルダーへの価値提供」の実現に向けて、様々な社会課題の解決や地球環境の保全について、プロフェッショナルを軸とした事業活動を当社グループ一丸となって取り組むことにより、社会全体の持続的な発展及び当社グループの持続的な成長の両立をめざしてまいります。

当社グループは、この基本方針に基づき、国際連合が掲げる持続可能な開発目標SDGsの達成に寄与すべく、事業を通じて世界が抱える社会課題に取り組んでいます。

C&Rグループのマテリアリティ ～プロフェッショナルとともに事業を創造することにより、豊かな社会を創る～

	マテリアリティ	重要テーマ
1	様々なプロフェッショナルが活躍できる機会と環境を創出	・プロフェッショナル50分野構想の進展 ・雇用問題/所得格差への取り組み ・社会の変化に対応できる教育の提供
2	プロフェッショナルネットワークによる新規ビジネスの創出	・プロフェッショナルの能力を活かす新たな価値の創造 ・グローバル展開 ・地方創生
3	プロフェッショナルの叡智を活用した環境への取り組み	・脱炭素社会の実現 ・循環型社会の実現 ・自然共生社会の実現
4	多様な人材の育成と働く環境の整備	・経営人材の創出 ・ダイバーシティ&インクルージョンの取り組み ・専門職が力を発揮するための教育
5	責任ある企業と経営基盤の確立	・コーポレートガバナンスの強化 ・法令順守／社会的規範 ・情報セキュリティ／プライバシー保護



免責事項

本資料に記載されている業績見通し、計画、戦略等は、現在入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、経済情勢や市場動向等の変化により、記載内容と大きく異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。